

令和3年9月6日

各高等学校長 殿
関係各位

宮城県宮城第一高等学校
校長 後藤 和也

宮城県宮城第一高等学校公開授業研究会及び講演会
―「宮スタイル」の授業を追究して― について (ご案内)

時下、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動に御理解と御助力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本校では、本校生徒の学力向上と、令和4年4月からの新学習指導要領の確実な実施に向けて、教材研究・授業改善の推進と、授業研究について研修を重ねて参りました。探究力を育てる授業づくりと ICT 教育の推進及び授業改善の取組の成果を取り入れた、公開授業を実施いたします。また、今回は新学習指導要領完全実施に向け、地方からの教育改革を目指し、ICT 機器整備のコンサルティング、教員のためのプログラミングセミナーの開催等でご活躍の、文部科学省 ICT 活用教育アドバイザー・総務省プログラミング教育事業推進会議委員 平井 聡一郎 氏による講演会を開催いたします。

つきましては、貴下教職員の皆様へ周知いたしますとともに、ご参加につきまして御配慮賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和3年11月5日(金)
- 2 日 程 12:30～13:00 受付
13:00～13:15 開会行事・趣旨説明(本校視聴覚室)
13:20～14:10 授業公開(下記のとおり)
14:30～16:00 講演「ICT 機器の利活用による、主体的で深い学びを目指した授業デザイン」(仮)
講師 平井 聡一郎 氏
(本校 秋桜館アリーナ)
16:00～16:30 質疑応答 等
16:30～16:40 閉会行事(秋桜館アリーナ)
- 3 会 場 宮城県宮城第一高等学校 視聴覚室・各教室・秋桜館アリーナ
- 4 申 込 別紙要項のとおり、QR コードで10月28日(木)までにお申し込みください。
- 5 その他 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、変更となる場合があります。

担当：宮城県宮城第一高等学校
教務部／探究教育センター 未来教育推進チーム
教諭 都築みと 三浦 学
TEL：022-227-3211 FAX：022-227-3213
E-mail：tsuzuki-mi061@td.myswan.ed.jp (都築)

令和3年度 宮城県宮城第一高等学校 公開授業研究会・講演会
 ―「宮スタイル」の授業を追究して― 実施要項

- 1 目的 本校において3年目となる授業力向上事業の諸活動と、新学習指導要領の確実な実施に向けた教材研究・授業改善の推進、授業研究（主体的・対話的で深い学びの具現化、探究的な授業展開の具体化）について研修成果を発表し、今後の授業について助言を得ることにより、本校教員のさらなる授業力向上を図るもの。
- 2 期日 令和3年11月5日（金）
- 3 会場 宮城県宮城第一高等学校・視聴覚室・各教室・秋桜館アリーナ
- 4 日程 12:30～13:00 受付
 13:00～13:15 開会行事・趣旨説明（本校視聴覚室）
 13:20～14:10 授業公開（下記のとおり）
 14:30～16:00 講演「ICT機器の利活用による、主体的で深い学びを目指した授業デザイン」（仮）
 講師 平井 聡一郎 氏
 （秋桜館アリーナ）
 16:00～16:30 質疑応答 等
 16:30～16:40 閉会行事（秋桜館アリーナ）
- 5 授業者 国語 都築 みと（古文） 数学 今泉 晃広
 地公 三浦 学（地理） 英語 加藤 陽子
 理科 二瓶 貴之（生物）；協働授業者 三浦 愛言（地理）
- 6 授業内容・実施クラス・場所

教科	授業内容	クラス・場所
国語	『和泉式部日記』に見る死生観―恋人の死をどう乗り越えるか― 「薫る香に」の前半部を読解し、その続きをグループごとに創作することで、主体的・対話的な学びによる思考の言語化を目指す。	3年2組
数学	「ロイロノートを活用した探究型授業」 授業支援クラウド「ロイロノート」を活用した探究型学習により、主体的・対話的で深い学びを目指すとともに思考力・判断力を育成する。	1年1組
地歴 公民	「世界の諸地域について―探究的な視点とICTの融合―」 ジグソー的な学びをベースとして、ICT機器による協働学習および探究的な学びを通して生徒たちがイメージする各地域について仮説を立てて調査する基盤を作ることを考える。（単元については変更の可能性があります。）	2年1・2組 選択者 (2年1組)
英語	「CLIL（内容言語統合型学習）を用いた授業」 コミュニケーション英語Ⅱの授業において、内容を重視した授業を展開し、生徒の深い思考を促し英語で表現する力をつけることを目指す。	2年2組
理科	「バイオーム分野の学びを地理的観点から思考する」 生物基礎のバイオーム分野の学びを軸に、地理的観点による人間生活の営みを考える。	1年6組

7 申し込み・QRコード 10月28日（木）まで

